

平成24年度 第2回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成24年5月22日(火) 18:45～20:45
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名(1名欠席)
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査 11名
- 4 傍聴者 2名
- 5 配布資料 (1) 『第28回 仲町公民館まつり』のご案内・・・資料1
(2) 平成24年度 小平市公民館八館会総会資料・・・資料2
(3) 第124号 こだいら公民館だより・・・資料3
(4) こだいら公民館だより『公運審だより』原稿作成について・・・資料4
(5) 第53回関東甲信越静公民館研究大会兼第60回長野県公民館大会
開催要項・・・資料5
(6) 平成24年度東京都公民館連絡協議会定期総会報告
平成24年度第1回委員部会運営委員会報告・・・資料6
(7) 平成24年度第1回小平市公民館運営審議会会議要録・・・資料7
(8) 『第36回上宿公民館まつり』のご案内・・・資料8
(9) 平成24年度公民館まつり等日程表・・・資料9
(10) 平成24年度小平市公民館定期講座実施状況・・・資料10
(11) こだいらの公民館 平成23年度 公民館事業実績・・・資料11
(12) 小平市受益者負担の適正化検討委員会検討結果報告書・・・資料12
(13) 小平市第2次行財政再構築プラン・・・資料13
(14) 公民館のあり方検討委員会資料・・・資料14
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成24年度公民館定期講座実施状況について
(3) 平成24年度公民館まつり日程について
(4) 平成24年度東京都公民館連絡協議会 定期総会報告について
(5) 公民館のあり方について
(6) その他

会議の概要

1 館長報告

館長より、今年度の夏の公共施設における節電対策の方針について説明した。

- ・7月から9月の主要電力量の総量の平成22年度比15%抑制
- ・クールビスの実施（5月1日から10月31日まで）
- ・ノー残業デーの実施
- ・空調の温度設定（原則28度）
- ・ブラインド及び緑のカーテンの実施

2 平成24年度公民館まつり日程について

事務局より資料9について説明した。

<主なもの（抜粋）>

- ・今年度は、小中学校の舞台発表がなく、入場者数が大きく減少した。来年度以降は、早めに調整を行い、学校の出演を依頼したい。（仲町）
- ・講演会では、オカリナの演奏を行い、小中学生に、本物のオカリナの音色を体験してもらおう試みを実施する。舞台発表は、小平第二小学校の和太鼓クラブ、小平第五中学校の吹奏楽部が演奏を行う。（上宿）
- ・バザーと募金箱の設置を予定しており、収益等については、義援金として被災地に送る。日曜日は午前10時から、土曜子ども広場番外編ということで、演目のない時間帯にも、子どもが集まる企画を用意している。（花南）

（意見等）

委員 仲町公民館まつりの講演会は、地元のお年寄りの伝承話が聞くことができ、貴重な講演だった。ただ聞いているだけではなく、簡単な資料があれば分かりやすいと思った。

委員 昨年度は、東日本大震災に心を寄せようということで、大変大きな額の義縁金が集まり、感動している。今年度も一部の公民館で義援金を募るとのことで、被災地支援を考える場としての公民館の役割があると感じた。

3 平成 24 年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料 10 について説明した。

<主なもの（抜粋）>

- ・今年度のシルバー大学は、「地域に活かそう！シニアパワー！！絆づくりプロジェクト」というサブタイトルをつけて実施する。シルバー大学から派生したサークルは、講座受講生以外が参加しづらいという声があったので、講座終了後、さまざまな方がサークルに参加できるような取り組みを行う。（中央）
- ・土曜子ども広場友・遊は、「友・遊科学研究室」と題し、理科をテーマとした内容を取り入れ、従来の遊びの内容も残しながら新たなメニューに取り組んでいる。（中央）また、利用サークルやボランティアの協力で、囲碁や押し絵、輪投げ、茶道等を子どもと一緒に取り組んでいる。（各分館）

（質疑応答）

委員 親子を対象にした講座がいくつかあるが、反響はあるか。特に父子での参加状況はどうか。

事務局 昨年度、親子を対象にした講座では、父子での参加は 3 分の 1 に届かなかった。一昨年度実施した成人団体指導者養成講座で、親子参加で父親を対象とした講座を実施したが、父親同士のコミュニケーションづくりは課題であると感じた。引き続き、男性が参加しやすい講座運営に積極的に取り組みたい。

委員 男性の講座参加に積極的に取り組んでほしい。公民館活動でできたつながりが地域の防災や町会活動に還元されていくのではないか。

委員 各館でさまざまな講座を実施しているが、講座についての情報交換はしているのか。

事務局 各館で情報交換はしている。このほか、各市から送付される事業報告や講座のための意見交換会での市民からの意見等も、情報を共有し、講座運営に取り組んでいる。

委員 抽選で落選してしまった受講希望者への対策や配慮は考えているのか。

事務局 要望が多い場合は、次年度以降も引き続き、同様のテーマで講座を実施していく。要望の多いテーマは、他館でも同様の講座を企画、検討する場合もあるので、落選者が再度応募できる機会もあると考えている。また、講座終了後、サークル化した場合には、落選者にサークルへの参加を呼び掛けた例もある。

委員 講座の企画について、基準はあるのか。

事務局 特に基準はない。要望等を考慮しながら企画している。

4 平成 24 年度東京都公民館連絡協議会定期総会報告について

委員より、東京都公民館連絡協議会委員部会第 1 回研修会の日程等について報告した。

5 公民館のあり方について

事務局より、資料 13 及び 14 について説明した。

(質疑応答)

委員 あり方という言葉は、非常に漠然としているが、有料化等の具体的なテーマはあるのか。

事務局 事業（ソフト）面、管理（ハード）面、管理運営面の三点を基本に、各市の状況調査やアンケートを実施して検討することとしている。

委員 アンケート用紙の配布及び回収ボックスの設置場所は、各公民館になっているが、公民館利用者ではない人からは、アンケートを回収できないのではないか。

事務局 決定事項ではないので、意見を参考に検討したい。

委員 公民館利用者であるか否かを問わず、無制限にアンケートを取る場合には、特定の意見が大きく反映される可能性を念頭に置く必要があると感じる。利用者を対象にした場合も、個人か団体かで票数が変わることを考慮すべきではないか。

事務局 具体的なアンケートの対象、実施方法については、意見を参考に検討していきたい。

委員 公民館利用者ではない人が、公民館を利用しない理由を聞きたい。防災や少子化等の地域課題を抱えている中で、広く意見を募り、公民館の今後のあり方を検討する上で参考にすべきだ。

6 その他

次回は、7月17日（火）午後1時30分より、中央公民館会議室にて開催する。